

2024 年 埼玉県企業冬季賞与の動向調査

冬のボーナス、企業の 24.9%で支給額「増加」

～ 2024 年問題抱える『運輸・倉庫』は増加する企業の割合高く ～

国内景気の行方を左右する個人消費の動向。2024 年の春闘では、大企業において満額回答が相次いだものの、中小企業の賃上げは見劣りする一面もあった。物価の上昇スピードに賃上げが十分に追いつかない状況は、家計の節約志向が高まる背景となっている。2025 年の景気の行方を占う意味でも、年末商戦における冬のボーナスへの注目度は一段と高まってきた。

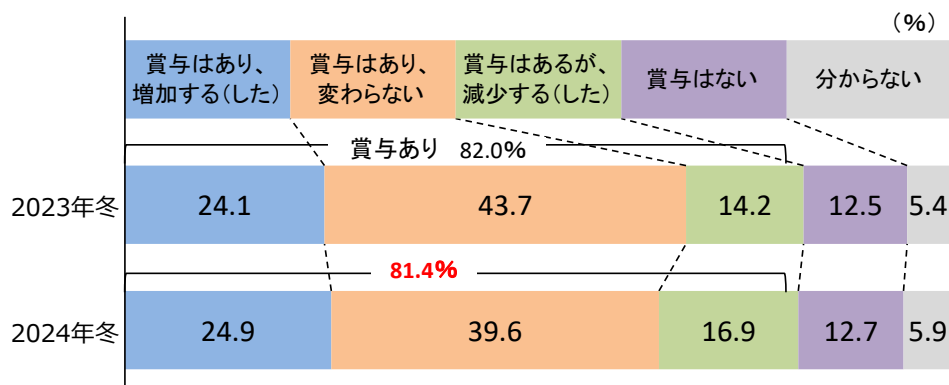
帝国データバンク大宮支店は、2024 年冬季賞与の動向について調査を実施した。

※ 調査期間は 2024 年 11 月 18 日～11 月 30 日、調査対象は埼玉県内企業 1006 社で、有効回答企業数は 409 社（回答率 40.7%）。

1. 冬季賞与の 1 人当たり平均支給額が前年より「増加」する企業は 24.9%

2024 年の冬季賞与（ボーナス、一時金、寸志など含む）の従業員 1 人当たり平均支給状況をみると、「賞与はあり、増加する（した）」企業は 24.9%となり、前年（24.1%）から 0.8 ポイント増となった。一方で、「賞与はない」企業は 12.7%で、前年（12.5%）からは微増であった。最も回答で高かったのは、「賞与はあり、変わらない」で 39.6%。前年（43.7%）からは減少したが、全体の約 4 割が前年から変化なしということになった。

【冬季賞与の支給状況（1 人あたり平均）】

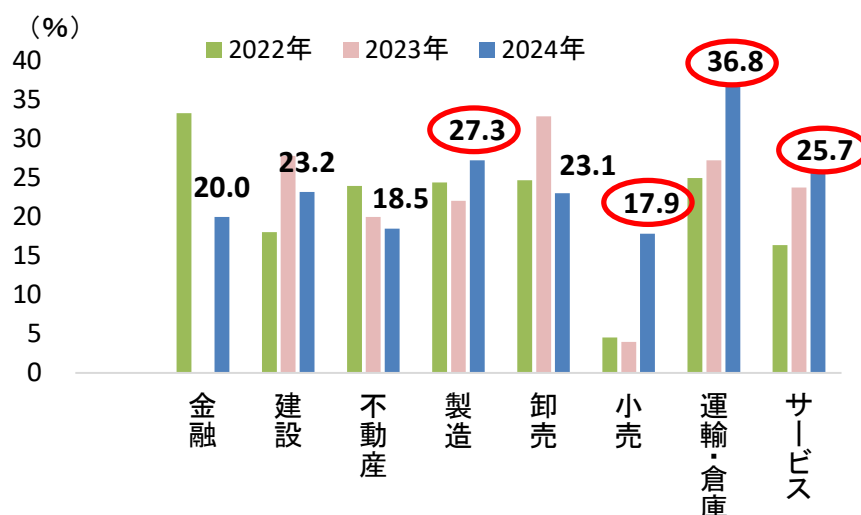


2. 2年連続で冬季賞与が「増加」する企業は12.0%へ上昇

業界別の動向をみると、『製造』『小売』『運輸・倉庫』『サービス』の4業界において、前年から冬季賞与が「増加」する割合が高まり（グラフ赤丸）、そのうち『運輸・倉庫』『サービス』の2業界は2年連続で割合が増加した。2024年問題に直面し人材確保が課題となっている『運輸・倉庫』では、前年（27.3%）より9.5ポイント増加し、唯一3割を超える結果となった。

なお、冬季賞与が2年連続で増加する企業は全体の11.6%、3年連続で増加する企業は全体の5.1%となった。

【冬季賞与が「増加」する企業の割合】



2024年の冬には、企業の約8割がボーナスや一時金など何らかの形で賞与を支給したとされる。2025年以降は飲食料品など生活必需品の値上げが続くと予想されるなか、企業が家計の購買力に直接影響するボーナスを支給する原資を増やすための経営改善を進めることで、消費活性化の一助となることが期待される。

株式会社帝国データバンク 大宮支店情報部

【問い合わせ先】 丸山、梅林

TEL 048-643-2080 FAX 048-645-7578

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。